

## 佐世保北高校と議員との意見交換会の要旨

○参加者 議員：吉村議員、宮本議員 高校生：佐世保北高校2年生2人、1年生2人

○発表テーマ：持続可能性の高い県北の街づくり

○意見交換会要旨

<政策提案への感想・助言>

(吉村議員)

持続可能なまちづくりがテーマの政策提案だったが、これは難しい問題。

佐世保市では現在、コンパクトシティの構想があるが、松浦や平戸、佐賀県西部も含めた街づくりが大切。

列車に関する提案の中で、武雄からMRに繋ぐという発表もあったが、現在、有田から佐世保に鉄道を繋ぐ検討も行っているものの、MRには自動停止装置がなく、連結できないという課題がある。

また、県北地域には隠れた観光資源が多くあり、昔は観光資源になっていたが、市町村合併などにより観光に活用しなくなったものもあるので、これを再整備することも必要。

(宮本議員)

提案の中で佐世保市医療総合センターの話が出ていたが、県でも地域包括ケアシステムというものを進めており、これは高齢者が自分の住んでいる場所で、医療、福祉、介護、生活支援のすべてを受けられるものであり、それを佐世保市医療総合センターが中心となって行っている。

また、佐世保駅を仙台駅のように賑わいのある駅にしたいとの提案もあったが、このような人が集まってくるような仕組みは本当に必要である。

それとアンケートの中で、大型店舗や魅力的な商業施設があることが、訪問理由の1位だったが、今、学生の皆さんはどこに遊びに行っているのか。

(生徒)

佐世保市内では日常の買い物程度しかしない。やはり、遊びに行くとなれば、大型商業施設がある長崎、佐賀や福岡へ行く。

<その他意見交換>

(生徒)

県議会で予算などを議決しているが、予算は国とどのように連携しているのか。

(吉村議員)

長崎県は自主財源比率が33%ほどで、残りは国からのお金であり、これは国に用途を示した上で、国の査定を受け予算をもらっているもの。国に要望しても10

0%予算が付くということはないし、用途が限られてしまう。

東京都は、国からの交付税が0円であり、都の自主財源だけで予算が賄えるということは、用途を限定されず、予算を使うことができるということ。

(生徒)

佐世保北高校でも年々学力が落ちており、市や県レベルでも学力が落ちているように感じるが、どのような対策が必要か。

(吉村議員)

一つは中高一貫教育である。佐世保北高も中高一貫になった頃は全国で39位になったこともある。中高一貫にした学校は全て進学率が上がっていると思う。

(宮本議員)

やはり、人口減少により競争力が低下し、学力も下がっている。以前は競争化社会と言われていたが、今は働き方改革、ゆとり教育等で競争力が低下したのも一因。

(生徒)

議員になるには、選挙で当選する必要があるが、そのためには議員の秘書になる等の政治経験を積む必要があるか。政治家になるにはどうしたらよいか。

(吉村議員)

いきなり国会議員になるのは当然難しい。秘書になり勉強することが近道かも知れないが、あまり面白くないのでは。自分が本当にやりたいことを持つことと、周りの人が投票してくれるような人としての魅力を持つことが大事。

(宮本議員)

情熱が必要だと思う。情熱がないと人は応援してくれない。